



【発行所】
中友会
 港区西新橋1-22-13
 全日本中学校長会館202号室
 東京都中学校長会事務局内
 TEL 03-3504-8705
 FAX 03-3504-8706

会則第2条
 ●親睦
 ●互助
 ●生涯学習

<http://chuyu-kai.org/>

平成二十九年を迎えて

中友会の底力

中友会会長 宇津木 順一



平成二十九年定期総会を、恒例になつて六月の第一土曜日、六月三日に東郷記念館内「水交会」で、多くのご来賓、会員の皆様をお迎えして盛大に開催することができました。

平成二十九年の事業であります。中友会が最も重要な事業として進めてきた「合祀慰霊祭」が本年度行われます。今回で第十七回を迎えます。既に担当幹事が実施計画を作成し準備に入っています。遺漏のないよう丁寧に準備を進めてまいります。会員の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

また、中学校が、新しい教育制度の下、昭和二十二年に新制中学校として誕生して、本年七十年を迎えています。中友会は、中学校誕生の二十年后、中学校の基盤が固まった昭和四十二年十一月に結成されました。本年度、中友会は結成五十周年を迎えます。そこで、昨年度、中友会結成五十周年記念事業準備委員会を設置し、記念事業について検討してまいりました。例年の忘年会の開催日程、場所に合わせ、本年十二月の第一土曜日に、東郷記念館内「水交会」で、五十周年

を祝う会として、五十周年記念式典と祝賀会を開催することにいたしました。また、その日に合わせて、五十周年記念会報を発行し、会員の皆様で五十年の歩みを振り返りながら、中友会の絆を深めたいと考えています。簡素な五十周年記念事業になりますが、中身の濃い記念の事業にしたいと思います。ご協力くださるようお願いいたします。さて、発足五十年を迎えた中友会でありますが、今、大きな課題に直面しています。

「中友会の運営は、旧新相和した美しい姿で展開されている」と元会長さんが記されています。今までは、毎年、その年の退職校長の方々から幹事を迎え、若い力が加わって、活力ある活動が展開されてきましたが、近年、再任用制度等が定着する中で、定年後も継続して仕事をしていきますので、会の運営の要となつている幹事を委嘱することが大変難しくなっています。この問題については、昨年度の総会で会則を一部改正して対応しておりますが、大変厳しい状況にあります。この課題解決に当たっては、現職の校長会との連絡交流の促進とともに、本会の組織運営の在り方、事業の進め方なども検討し、見直し改善を図る取組が必要となつていきます。

一方、このような状況はありますが、現在、幹事長を中心に幹事の皆様が真剣に会の運営、活動

にご努力いただいています。それぞれ仕事を持ち、また家庭の事情もある中で、中友会のために時間を割いていただいています。中友会をしっかりと守っていくという強い気概と使命感をもって、幹事の仕事に打ち込んでいただいております。幹事の皆様の働きに頭が下がる思いがしております。

また、昨年度、「中友会結成五十周年記念事業準備委員会」の設置に当たっては、現状を理解された幹事長経験者の参与の皆さんに加わっていただき、強力な体制で準備を進めております。力強い応援をいただいで中友会の底力の強さを実感しています。

平成元年に制定された中友会の会章は、中央に中友会の「友」を配し、それを中心にした上下左右の帯は、中学校教育の先達として教育と人生の理想を追求する高遠な中友会の『矜持』と『使命』、『親和』と『連帯』を象徴しています。

特に、矜持と使命には、中学校長として共に社会的使命を果たしてきた仲間としての自信と誇りとともに、それに伴う社会的な役割、貢献という精神が込められているように考えられ、ノブレス・オブリージの精神にもつながるように思います。

この矜持と使命、親和と連帯の精神が、中友会の基盤にあつて、中友会の底力の強さにつながっています。改めて中友会の精神を共に学び、共感し共有して、中友会の絆が一層強く結ばれるよう願っています。

このように課題もありますが、本年度は大きな事業が重なっています。会員の皆様には、今以上に積極的にご参加いただいで、中友会の精神を共有し絆を深めていただきたいと思ひます。